

「ふね遺産」(応募様式) : A4 一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

2017年 11月 4日提出

氏名(個人名または団体の代表者名) : 佐藤 智恵

所属(個人は住所) : 日本郵船株式会社 歴史博物館・氷川丸グループ

メールアドレス : chie.sato@nykgroup.com

その他の連絡先 : 045-641-4362

| No.(*) | 内容 | 備考 |
|-------------------------------|---|--|
| 1. 対象物・資料の名称・所属または所有者 | 対象物 : 日本郵船氷川丸 資料の名称 : 航海日誌・諸記録類、図面類 所有者・管理者 : 日本郵船株式会社 | 認定対象は氷川丸とし資料は氷川丸付属資料とする |
| 2. 対象物の作成・存在時期 | 竣工時 : 1930年(昭和5年)4月 存在期間 : 1930年~現在 海外との輸送手段を貨客船が担っていた20世紀前半から中葉にかけて主要航路である北米航路に就航し、戦中は病院船、戦後直後は復員船、引揚船あるいは援助物資輸送船として、また横浜港に係留後は、海事・海洋思想普及のため一般公開を続けるなど、社会・経済史上に大きな役割を果たしている。戦前の日本で建造された大型船舶の中で現存唯一の遺存例として貴重。 | |
| 3. 現状(写真添付) | 横浜市中区山下町山下公園地先に係留  | 竣工当時の姿に近い形に修復され、展示・船内の公開が行われている。 |
| 4. ふね遺産認定基準の該当項目(**) | 【認定対象】 (1) 船舶 (3) 航海日誌・諸記録類、図面類 【認定基準】 (12) アールデコ様式の内装は、我が国に直輸入された最初の建築意匠として貴重。 (3)(12)として項目5に記載。 | 認定対象は氷川丸とし資料は氷川丸付属資料とする |
| 5. 歴史的・工学技術的意義 | 竣工当時最新の造船技術を導入して建造されたものであり、当時の最新技術をうかがうことができる。 具体的には下記の通り。 (1) 基本設計上、客船でありながら優れた貨物積載能力と荷役装置を持つ。 (2) 複動大型ディーゼルエンジン搭載。 (3) SOLAS先取りの先進安全第一主義の設計。(水密区画配置など) (4) 北太平洋横断航路の激浪に耐える万全の構造設計。 (5) 当時先端の、救命・防災設備。 (6) 電動甲板補機の採用。 | |
| 6. 参考資料・文献(本表に収まらない場合は別途添付する) | ・日本郵船70年史(日本郵船) ・日本郵船戦時戦史(日本郵船) ・海軍特設病院船・掌糧日記(塚口上舟・私家版) ・病院船氷川丸回顧録(鈴木衛・私家版) ・横浜市指定文化財「氷川丸」調査報告書(横浜市) ・氷川丸とその時代(郵船OB氷川丸研究会編・海文堂) | 昭和31年 昭和46年 平成6年 平成8年 平成18年 平成20年 |

(*) No. は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する項目を、文頭の番号で記載して下さい(複数項目可)。